

甲賀市レッドリスト 2012 植物（維管束植物）

◇ 甲賀市の植物（植物相および地理分布の特徴, 解明度）

- 甲賀市の植物については, 滋賀県植物誌, 近畿植物誌, 滋賀県レッドデータの記載, 各種開発に関連した環境影響評価の調査結果などで公表されているが, 市域全体の植物相については整理されていない。
- 水口町みなくち子どもの森園内では 700 種以上の植物が確認されており, 今後の調査により, 市内ではさらに多くの植物が確認できると推察される。
- 甲賀市の自然環境を特徴づける種, 甲賀地域に特徴的に分布する種として, 鈴鹿山脈には, アカヤシオ, コアブラツツジなどの多種のツツジ科植物とスズカカンアオイ, ウスギナツノタムラソウ, コモノギク, ワタムキアザミ, 信楽山地には, コウヤミズキ, キンコウカなどが生育している。さらにコウヤマキ, ツガ, アオモジの群落, 水口町野洲川の砂地のある川原にはカワラハハコが群生する。
- 古琵琶湖層の丘陵地域から信楽山地にかけて点在する湧水湿地には, 氷河期の遺存種サギスゲ, ヤチスギランをはじめとする多くの湿地性植物が確認されている。
- 丘陵地や田畑に続く草地には, タヌキマメ, ヒキヨモギ, スズサイコ, コシオガマなど, 多くの里地で見られなくなった植物が確認されている。

◇ 甲賀市レッドリスト 2012 植物 掲載方針

- 甲賀市レッドリストでは, 市内で実際に確認したか, 確実な情報が得られた植物を評価対象とした。当然掲載されそうな種類についても, 現状把握の程度が低く, 評価材料が不足すると判断した場合は, 要注目種からも除外した。
- 2007 年のレッドリスト策定後, 市内各地の植物についての更なる調査, 各種報告, 情報に基づいて, 植物に関する有識者の意見をもとに 2012 年版のレッドリストを作成した。
- カテゴリー定義: 「**絶滅危惧種**」は, 生育地が極めて限定され (1~数カ所), 存続が困難になりつつある種。および過去に確実な記録, 情報があるが, 未確認の種。「**絶滅危機増大種**」は, 生育地が限定され, 減少傾向が著しい種。「**要注目種**」は, 減少傾向と考えられる種, 情報不足の種, それほど減少していないが良好な環境指標となる種。「**地域種**」は, 甲賀市に特徴的に生育し, 群落, 群生する種を判断基準として選定した。

◇ 甲賀市レッドリスト 2012 植物 掲載種の概要

- 各カテゴリー掲載種数 (甲賀市レッドリスト 2007 と比較) は以下表のとおりであった。

表. 甲賀市レッドリスト 2012 植物 掲載種数

＼	2012 種数	2007 種数	増 減	備 考
絶滅種	0	0	0	
絶滅危惧種	36	35	+1	
絶滅危機増大種	45	37	+8	
要注目種	59	43	+16	
地域種	7	14	-7	地域種の定義を変更
(合計種数)	147	129	+18	

- ・ 絶滅危惧種としてイワヒバ, オキナグサ, セツブンソウ, カザグルマ, ツルフジバカマ, ガガブタ, ヒキヨモギ, アギナシ, ミノコバイモ, クマガイソウ, トキソウ, クモランなど, 絶滅危機増大種としてヤチスギラン, サンショウモ, コウホネ, スズサイコ, マツムシソウ, ノハナショウブ, ホシクサ, カセンソウなど, 要注目種としてクモノスシダ, イシモチソウ, タコノアシ, ウメバチソウ, コガンピ, キキョウ, ササユリ, ヒナザサなど, 地域種としてコウヤマキ, スズカカンアオイ, ハルリンドウなどを選定した.

◇ 甲賀市レッドリスト 2007 植物からの変更とその理由

- ・ 絶滅危惧種 36 種 (前回 35 種) では前回 35 種のうち 31 種が留まった. 2 種が絶滅危機増大種へ, 1 種が要注目種へ移動した. フクジュソウの記録は不確実との判断で削除した. 調査進行により, 新たに確認されたツルフジバカマ, ホンゴウソウ, ミノコバイモ, ショウキラン, クモランの 5 種を指定した.
- ・ 絶滅危機増大種 45 種 (前回 37 種) では, 前回 37 種のうち 32 種が留まった. 4 種が要注目種へ移動した. スブタは現状確認が難しく, リストから削除した. 調査進行により, サンショウモ, ヤマイバラ, ホシクサ, カセンソウなど新たに 8 種を指定し, 絶滅危惧種からイヌタヌキモ, エビネ 2 種が, 要注目種からノハナショウブ, ミカヅキグサの 2 種, 地域種からアカヤシオを追加した.
- ・ 要注目種 59 種 (前回 43 種) では, 前回 43 種のうち 39 種が留まった. 2 種が絶滅危機増大種に移動した. また, 自然分布の真偽が疑われてミヤマヨメナを削除し, 現状確認が難しいヤナギスブタも削除した. 調査進行によりコガンピ, ヒナノシャクジョウ, ヒナザサ, マメスゲなど 9 種を新たに指定した. 絶滅危惧種からコハナヤスリ (ハマハナヤスリ) 1 種を, 絶滅危機増大種からブナ, ヒツジグサ, ムラサキミミカキグサ, コショウノキなど 7 種を, 地域種からコウヤミズキ, シロヤシオ, ササユリ 3 種を追加した.
- ・ 地域種 7 種では (前回 14 種) では, 前回 14 種のうち 6 種が留まり, 1 種が絶滅危機増大種へ, 3 種が要注目種へ移動し, 4 種を削除した. 調査進行により, 1 種が追加された. 定義を明確にして, 地域で親しまれる種というだけでは掲載しないことにした.

結果, 分布上, 鈴鹿山脈の特徴的な種であるアカヤシオ, シロヤシオ, 信楽山地に生育するコウヤミズキ, 里地のササユリは開発, 草地の現状維持が困難になりつつあることなどにより, 減少傾向が判断されて, より高いカテゴリーに移動した. いくぶん湿った草地に生育するハルリンドウは, 県内でも群生地が減少していると判断し, 新たに加えた.

◇ 今後の対策・留意点

- ・ 絶滅危惧種の植物は, 限られた環境にのみ生育でき, 現存の生育地が失われてしまうと, 絶滅の可能性がある. 園芸的な採集圧の強い植物も多い. 生育環境の維持を図り, 開発, 採取などの人為的な環境変化を起こさないように努める必要がある.
- ・ 現存する植物を確実に把握し, カテゴリーの判断を的確にするために, 今後, 多くの調査者の参加を得て, さらに調査を深めることが期待される.
- ・ スブタとヤナギスブタの標本記録 (甲賀郡水口町, 1934年8月16日採集; 大阪市立自然史博物館 三木茂コレクション) の扱いについて検討したが, 今回はリストに掲載しなかった. また, ハンカイソウ (水口町), ユウスゲ (土山町) の記録を確認し, リスト策定後にサイコクヒメコウホネと考えられる種の自生地 (水口町) を確認した. 今後の詳細な検討を待ちたい.

【参考文献】

北村四郎 (1968) 滋賀県植物誌. 362pp. 保育社, 大阪.

甲賀市みなくち子どもの森自然館 (2007) 甲賀市レッドデータブック-守ろう!!甲賀の自然と生き物. 80pp. 甲賀市, 甲賀.

滋賀県生きものの総合調査委員会 (2011) 滋賀県で大切にすべき野生生物-滋賀県レッドデータブック 2010. 584pp. 滋賀県自然環境保全課, 大津.

滋賀県立琵琶湖博物館 (2004) 中井大介・布谷知夫・村瀬忠義(責任編集), 琵琶湖博物館資料目録第10号, 植物標本3 村瀬忠義 植物標本目録. 303pp. 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津.

滋賀県立琵琶湖博物館 (2005) 若狭喜弘・布谷知夫・村瀬忠義(責任編集), 琵琶湖博物館資料目録第11号, 植物標本4 村瀬忠義 植物標本目録 合弁花類. 332pp. 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津.

滋賀県立琵琶湖博物館 (2005) 若狭喜弘・布谷知夫・村瀬忠義(責任編集), 琵琶湖博物館資料目録第12号, 植物標本5 村瀬忠義 植物標本目録 離弁花類. 461pp. 滋賀県立琵琶湖博物館, 草津.

滋賀県甲賀県事務所田園振興課・内外エンジニアリング株式会社 (2010) 大原貯水池地区自然環境調査, 滋賀県甲賀県事務所, 甲賀.

滋賀県甲賀土木事務所・八千代エンジニアリング株式会社 (2010), 平成20年度 第R1-3号 国道307号道路改築環境調査業務報告書 (動植物抜粋), 滋賀県甲賀土木事務

所, 甲賀.

滋賀植物同好会・大原貯水池土地改良区 (2010) 平成 21 年度農業用水源地域保全対策事業
大原貯水池水源地域 植物調査報告. 57pp. 滋賀植物同好会, 野洲.

村田 源 (2004) レッドデータブック近畿研究会(編), 近畿地方植物誌. 257pp. 大阪自然史セン
ター, 大阪.

横山明子・西村淳子 (2010) みなくち子どもの森の維管束植物. みなくち子どもの森自然館
(編), みなくち子どもの森年報告第 5 号 (平成 17~20 年度), 28-37. 甲賀市, 甲賀.

米倉浩司 (2012) 邑田仁(監修), 日本維管束植物目録. 196pp. 北隆館, 東京.

【策定メンバー 氏名 (所属)】 (敬称略)

谷 悦男 (滋賀山草会会長)

佐治 達三 (滋賀県植物研究会)

東 正也 (大正薬品工業株式会社, 滋賀県野鳥の会)

西村 淳子 (元 みなくち子どもの森自然館 自然観察指導員)

横山 明子 (元 みなくち子どもの森自然館 自然観察指導員)